

平湯川砂防樹林帯第4号帯工工事における安全対策について

辻建設(株) 平湯川砂防樹林帯第4号帯工工事
工期:平成17年11月11日～平成18年3月31日
現場代理人 ○伊藤 良秀



1) はじめに

本工事は、樹木や転石で自然豊かな平湯川で、その景観に配慮しながら、河床から発生する自然石を帯工・護床工・護岸工に利用して河川を整備する工事です。

現場はまだ始まったばかりですが、これまでに行なった安全対策及び創意工夫について報告いたします。

2) 主な工事概要

土工	掘削工	3,560 m ³
	盛土工	600 m ³
	埋戻	1,217 m ³
帯工本体工	新粗石コンクリート	586 m ³
	コンクリート	313 m ³
	巨石張・据付・積	168 m ²
護床工	コンクリート	241 m ³
	巨石据付	244 m ²
護岸工	巨石張	369 m ²
導流堤護岸工	巨石張	241 m ²

1月19日現在の現場状況



3) 安全対策

1. 過積載防止対策について

本工事は帯工現場まで仮設運搬路を施工しなくてはならず、他現場から456m³の土砂を公道を利用して搬入しなければならなかった。今年の冬は降雪が早く、道路が圧雪状態になっていた事もあり、土砂の過積載による事故が心配された。

そこで「第6回 工事安全施工管理研究発表会 論文集」過積載防止対策でのダンプトラックの荷台にマーキングするのを参考にしながら「どうして過積載がいけないのか」また過積載をすると「どのようなペナルティ」を受けるのかを、知ってもらう為のパンフレットを作成し、現場の目立つ場所に掲示したり、安全訓練で教育したりして、少しでも過積載防止に対する意識を高めたいと思いました。

現場で作成したパンフレット

過 積 載 対 策
これ以上積んだら過積載

土砂積載ライン標示



土砂積載状況

*** どうして過積載がいけないのか**

- 1) 交通事故の増大
ブレーキが効かなくなったり、カーブを曲りきれなくなる。
- 2) 道路・橋梁の損傷
路面のわだち掘れ・橋梁の損傷等、道路構造へ深刻な影響を与える。
- 3) 環境問題
騒音や排出ガスが悪化するため、沿道環境や他の自動車へ与える影響が大きい

*** 過積載で事故を起こした時の罰則**

- 1) 過積載運転によって死亡事故を引き起こした時は、免許停止
- 2) 過積載を1年以内に繰り返したときも同様
- 3) 過積載運転を要求した場合も罰せられる。
- 4) 直接の運転手のほか、使用者・法人もばっせられる。

安全訓練での教育



パンフレット掲示状況



2. 凍結時での昇降階段からの転倒防止対策について

昇降階段は荷物を持っての使用も多く、時には手摺が掴めない場合もあります。以前に私自身も足を滑らせて転びそうになった事がありました。そこで当現場では、ステップに南京袋を巻いて、凍結時や降雨時での足元の滑り防止を行なっています。

ステップに南京袋を巻いた昇降階段



作業場への昇降階段



昇降階段利用状況



3. 現場危険箇所における間伐材を利用した防護柵の設置について

段差の大きい危険な開口部箇所に、間伐材を利用した防護柵を設置した事により、従来の防護柵よりもはっきり確認でき、作業員や運転手の安心感も増すと思う。



4. 激寒気で厳しい作業条件下での作業環境の改善



当現場は川風が強く、気温以上に体感温度が低く感じられます。そこで作業の疲れを少しでも癒してもらおうと、現場事務所の美装化や正面屋根を、透明な波トタンで造りサンルーム風に外光を採り入れ、明るく、暖かな雰囲気のある休憩所を設けました。作業員の皆さんからも、好評を受けています。



4) おわりに

今年は大雪でまた厳しい寒さの中、作業もなかなか思うように進んでいませんが、この先新粗石コンクリートまた巨石積といった危険作業が多く残っていますが、工事関係者の皆さんと一っしょに小さな工夫を積み重ね、より良い作業環境を築きながら「無事故・無災害」を目指して工事を完成していきたいと思えます。